



川でむすぶ

夏井川
流域
ネット
ワーク

<事業報告>

- ①第3回ウォーキング
- ②好間4小「川の学習支援」
- ③定例清掃
- ④河口右岸親水公園の浚渫工事視察
- ⑤福島県流域水循環協議会研修会

<行事案内>

設立20周年祝賀会（3／27（日））

<報告>

小野町一般廃棄物最終処分場増設への意見書提出

— 住民による川づくりを進めましょう —

代表世話人 橋本孝一

新年のご挨拶が遅れましたが、改めて、明けましておめでとうございます。年が改まって、急に新型コロナオミクロン株が世界的に猛威を奮い、日本中で第6波となる大波が押し寄せ、当いわき市でも、患者数が急増しつつあります（1月22日現在）。公的施設では、使用制限がかかり、各種会議等の開催にも支障をきたしております。

◆このような中ですが、「20周年記念誌」がやっと発刊の運びとなりました。会員の皆様はじめ、会員外の方々から多数のご寄稿を頂きましたことに深く感謝申し上げます。記念誌は、会発足時からこれまでの諸活動を振り返ると共に、会内外の方々の夏井川に対する思いを掲載させて戴いております。この記念誌を抛り所に、当会の次なる発展に繋がっていくことを願っています。

◆令和元年の東日本台風以降、夏井川の河道内の整備が進んでおりますが、この整備事業は、川づくりの第一歩です。流域全体を視野においた「流域治水」をいかに具体化するか、維持管理に私たち流域住民が如何にかかわっていくのか、河川生態系を如何に復元していくのか等、「治水・利水・河川環境」のバランスを考えての活動は、今後、私たちに課せられた大きな課題だと思います。

今後とも、皆様と一緒に力強く活動を進めていきましょう。

＜事業報告＞①第3回ウォーキング

桶田隆司

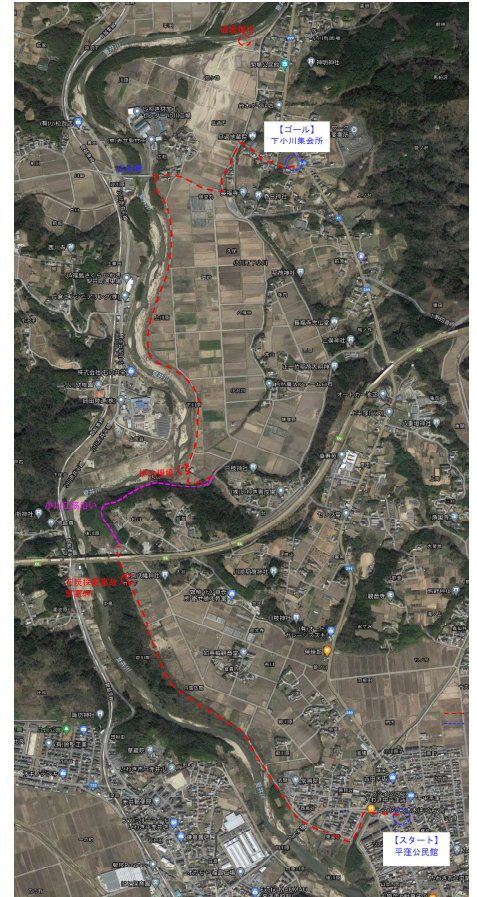
令和3年11月14日、秋晴れの下、第3回ウォーキングを行いました。夏井川河口から源流まで歩こうと、令和元年の第1回は夏井川河口から鎌田公園まで7.3km、令和2年の第2回は平鎌田公園からJR赤井駅(平窪公民館)まで5.1km、第3回目の今回は平窪公民館から下小川集会所まで5.3kmのコースです。コロナ感染症の関係で、会員だけの少人数(8名)で歩きました。

平窪公民館から夏井川左岸を上流に向かいます。令和元年10月の東日本台風で決壊した堤防復旧工事と川中の竹木・土砂撤去工事が進んでいます。左支川の真似井川では、工事中で白鳥広場までは通行できませんでしたが、来年の白鳥飛来時期には歩きやすい道ができていることを期待しながら通過しました。川中にある立竹木が伐採されており、歩いている左岸堤防から右岸堤防が見渡せる状態です。「夏井川は広がったんだなー」、「台風の時もこれくらい広がったら、溢れなかったのかなー」。広がった川を見ながらため息です。「早く工事が終わってくれよー」。参加者の半数が、台風で床上浸水の被害にあっている方でした。

次は歴史の勉強、旧三春街道が夏井川を横断していた場所です。今は渡れるすべはありませんが、遠くを望むと橋の形跡と分岐道標があるとのことでした(佐藤忠さん[御年92才]:平窪に長く住み、街道、河川の変化を観察されています)。常磐道が横断している付近の竹林の中に、昭和33年日曹赤井炭鉱陥没事故(夏井川から浸水か)の慰霊碑がありました。地元では、東日本台風で決壊箇所のうち1カ所は、陥没が原因ではないかと噂されています。

しばしの区間は、夏井川から離れ、小川江筋沿いを歩きました。またまた勉強です。江筋トンネル銘板の「不尽滔々(ふじんとうとう)」は「絶え間なく水がみなぎり広がる」という意味だそうです(山口裕子さん)。後半は、広畑橋下流の広い田園地帯です。この地区は、台風19号で浸水しました。過去の台風でも浸水しております。遊水池的機能を持つ地形となっています。最後、広畑橋から下小川集会所まで歩き、おにぎりを食べながら意見交換を行いました。

現在、夏井川は台風19号による復旧工事が盛んに行われています。流域治水として、河川以外の施策も計画されています。治水はもちろんですが、「河川環境の整備と保全」が総合的に管理されることを期待します。次回は新型コロナウイルスが終息し、多くの方々とウォーキング出来ることを祈っております。お疲れ様でした。



堤防沿いをウォーキング



曹赤井炭鉱陥没事故慰霊碑



小川江筋沿い



小川江筋トンネル銘板「不尽滔々」 下小川排水機場の排水門



ゴールの下小川集会所

<事業報告> ②好間4小「川の学習支援」

橋本孝一

好間第四小学校の学習支援については、NPO 法人いわき環境研究室との共催事業として取り組んできました。当校は、全校生 29 名と少ない学校です。コロナ禍の中ではありますが、十分な対策を取りつつ3回にわたる支援講座を行ないました。

◆第1回目（7月8日（木））～テーマ：「好間川の源流から夏井川河口までを辿る」

当初7月7日の実施予定でしたが、天候の関係で、翌日8日の実施となりました。今回は、学校側の強い要望もあり、全校生 29 名全員が2台のバスに分乗しての実施となりました。好間川の源流の一つでもある「雨降山」に登り、森林の様子を見ながら、源流部の細い流れに触れたり、溪流の生き物調査にも挑戦、サンショウウオが生息しているのを見て感動していました。バスは、一路、国道49号線沿いに下り、平橋（平幕の内）から夏井川と合流する様子を観察しました。合流部は、河川改修が進められていました。さらに、バスは、夏井川沿いを下り、河口左岸の堤防上から大きな川幅となり、大きな流れとなっている様子を観察しました。また、河口に架かる新舞子橋を渡り、右岸親水空間で、昼食を摂った後、カニ釣りやボート乗りを楽しみました。無事、全員帰路につきました。



（※写真は、好間4小のHPから引用させていただきました）

◆第2回目（10月5日（火））～テーマ：「好間川の生き物調査」

当初8月実施の予定でしたが、天候の関係で延び延びとなって、やっと10月の実施となりました。水温が低くなった関係もあり、直接、好間川での生物調査に当たるのは、5、6年生が行いました。採取した水生生物等を学校に持ちかえり、4年生以下の児童は、教室内で、マイクロスコープ等で観察しました。（水生生物は、学校での観察後、川に戻しました）



◆第3回目（11月30日（月））～テーマ：「洪水～川は生きている」

2019年の東日本台風での被害を踏まえ、「川の持つ2面性（恩恵と脅威）」を理解してもらうため、5、6年生（9名）を対象に模型等を駆使しての講座を実施しました。模型の多くは、NPO法人いわき環境研究室のスタッフの作成によるもので、川の流れに係る様々な要素を組みこんだジオラマ、流域模型、森の保水力、川の流れ等、模型を使っでの体験講座は、児童に強い印象を与えたようでした。



<事業報告>③定例清掃

田中博文

毎月第一土曜日を定例清掃日として朝7時30分から1時間半程度の清掃活動を実施していますが、夏井川河口右岸親水公園と新川アリオス裏ひょうたん島が河川浚渫工事を実施しているため立入りできず、防災ステーション（好間町川中子字落合 96-2）で実施しました。

会報前号（今年9月）以降の活動実績は次のとおりです。

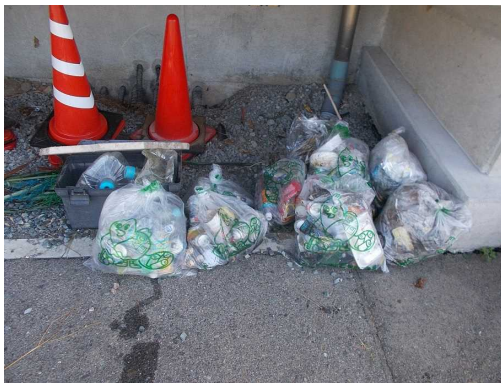
月日	場所	内容	参加者数
○ 9/4（土）	夏井川河川防災ステーション	ゴミ拾い	4名※
○ 10/2（土）	夏井川河川防災ステーション	草刈り・ゴミ拾い	5名
○ 11/6（土）	夏井川河川防災ステーション	草刈り・ゴミ拾い	6名
○ 12/4（土）	夏井川河川防災ステーション	草刈り・ゴミ拾い	10名
○ 1/8（土）	～～～	中止	～～～
○ 2/5（土）	～～～	中止	～～～

9/4の定例清掃は雨天で当日中止でしたが、それでも現地に数名※集まったため周辺のゴミ拾いだけを行いました。それにしても毎回袋2つ以上の新たなゴミが捨てられている状況です。

1月と2月（1/8・2/8）も防災ステーションの予定でしたが、新田川沿いも県で除草して頂き12/4清掃でかなりきれいになったため、極寒期ということで中止としました。

3月から防災ステーションで再開したいと思います。

【3月定例清掃：3/5（土）7:30～夏井川河川防災ステーション 〈雨天は中止〉】



集めたゴミ（10/2）



草刈り・ゴミ拾い状況（11/6）



草刈り・ゴミ拾い状況（12/4）



新たに参加した人も（12/4）

<事業報告>④河口右岸親水公園の浚渫工事視察

田中博文

河口右岸親水公園（パークゴルフ場の奥）で河川浚渫工事が行われていますが、当会でも小学校学習支援のカニ釣りなどで年に数回継続利用しているため、12月22日（水）の午前中、県いわき建設事務所に現地立ち会っていただき、現状利用での改善点について要望しました。

（いわき建設事務所河川砂防課2名、当会3名）

【要望】

- ・ボート体験で利用するため近接水路の土砂を撤去してほしい
- ・ボートの降ろし・引き上げのため階段護岸を緩やかにしてほしい

【回答】

- ・本川河道確保のための土砂撤去が主工事であるため、その後に実施できるかどうか検討する
- ・実施する際は永続的に活用できるような整備をしたい



<事業報告>⑤福島県流域水循環協議会研修会

橋本孝一

福島県流域水循環協議会の研修会がオンラインで令和4年1月18日（火）に開催されました。本協議会は、福島県企画調整部復興・総合計画課が事務局を担っており、今年度は、コロナ禍の中でもあることからオンラインでの研修会となりました。同協議会には、「夏井川流域の会」として会員になっており、その関係で、橋本がオンラインで自宅から参加しました。

（研修内容） 13:30 開始で、主催者挨拶の後、

- 基調講演；笹川みちる氏（内閣府水循環アドバイザー）：「水から見つけるまちの姿と人のつながり」と題して講演がありました。笹川さんは、「雨水市民の会」でも長年活躍されていた方でもあります。“雨から水循環を考える”という視点で、「水の学校」を通じて、広く水環境を知ってもらう活動体験を紹介されました。特に、より多くの市民に参加を促すために、市民対象に無作為抽出で、行事案内をダイレクトメールに送った時は、参加者の約半数は、そのメールを見て参加した、とのことでした。「関係人口」をいかに増やすか、とても参考になる講演でした。

- 会津若松市立湊小学校児童による「水循環」をテーマとした劇の発表、
- 福島大学のボランティアサークル「WIL」(3年前に発足)から、水循環をテーマに、植林・ウチダザリガニの採取・メダカ塾等、水辺との触れ合い事業の紹介がありました。
- 「水環境団体による取組事例の発表」があり、特に、「新規参入者獲得・人材確保に向けた取組」の観点を含め6団体から取組内容を中心に報告がありました(各3分程度)。
- ①会津阿賀川流域ネットワーク(石田氏)、②NPO法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議(中村玄正氏)、③夏井川流域の会(橋本)、④西郷くらしの会(大越則恵氏)、⑤はぜっこ倶楽部(杉本氏)、⑥ふるさとの川・荒川づくり協議会(松田氏)
- ⇒夏井川流域の会からは、今年度の主な事業(一斉水質調査、ウォーキング、小学校の学習支援、親水空間の草刈等)を紹介すると共に、人材確保については、3つの提案をしました。
- 第一は、学校の学習支援は、平日での実施となることが多いので、「リタイア会員+保護者」が担っており、会員外のリタイアした方への働きかけが必要であること。第2は、水辺の教室や川下り、清掃活動等は、休日の実施となり、親子等での参加が多くなるが、参加して頂く保護者の方々にも、事業の進行等の支援をお願いし、会員登録またはサポーターとして登録していただくような働きかけが必要ではないか。第3に、県・市町村レベルで、「ボランティア登録サイト」を立ち上げて登録して頂くような方法も考えられる。
- 当会からは、以上の3つの提案を行いました。笹川氏から話があったように「関係人口」を如何に増やすか、どの団体とも苦労しているようでした。

<行事案内> 設立20周年祝賀会

平成12年9月19日付けで設立趣意書を作成して発起人13名の連名で賛同者を募り、同年10月21日小川公民館で約130名参加し設立総会を開催して活動方針の説明、役員の選出を行い、それから20余年が経過しました。

これまでの活動をまとめた20周年記念誌の発刊のほか、ささやかな祝賀会を下記のとおり開催しますので、多くの方が参加いただけますようお願いします。

◆日 時 令和4年3月27日(日) 13:30～

◆場 所 いわき市文化センター 大会議室

詳細は別紙チラシをご覧ください。

(注)当初は2/27(日)を予定していましたが、現時点で、いわき市では2/20(日)まで「まん延防止等重点措置対象地域」に指定されており、さらなる延長を予想して1ヵ月延ばしました。ですが、今後の動向によっては中止となる可能性がありますので、3月に入ってから当ホームページまたは世話人に開催の確認をお願いします。

(ホームページアドレス：巻末をご覧ください)

<報告> 小野町一般廃棄物最終処分場増設への意見書提出

橋本孝一

令和3年11月26日付けで小野町一般廃棄物最終処分場の変更許可申請に対する意見書を福島県知事宛に提出しました。

○生活環境の保全上の見地からの意見

(1) 県外からの一般廃棄物の受け入れについて反対です。

本処分場には、首都圏等で発生する一般廃棄物も搬入されており、一般廃棄物は、本来、処分量の発生抑制の観点からも、発生自治体内で処分すべきものであります。当初計画では、平成23年3月に埋立終了となっていたにも関わらず、更に増設するとの計画は論外です。

(2) 水道水源への水質影響の懸念

処分場からの処理水は、夏井川本川上流部に放流されています。夏井川本川の水は、夏井川下流に位置するいわき市の平浄水場の水源となっており、水質には、重大な関心を持っています。処分場設置後、絶えず不安を抱いてきましたが、更に増設するとの計画を知り、強い不安と怒りを覚えます。

以上の理由から、埋立処分の処理施設変更には、強く反対します。強い行政指導を望みます。

以上、よろしくご検討ください。

<事務局よりお願いなど>

■ 資材置き場等に係わる情報提供のお願い

夏井川からさほど遠くない場所に、空き倉庫、空き地、空き家など低料金で利用可能な情報があれば、事務局または世話人へ是非お知らせ下さい。

■ 世話人会に参加してみませんか

当会はいわき市文化センターにて基本毎月第1火曜日に「世話人会（18：30～）」を開催しています。誰でも参加できますので、是非ご参加ください。

～～～ 会員の皆様からのご意見・御寄稿をお待ちしております ～～～
(行事予定は下記[ホームページ](http://blog.natsuigawa-karyu.net/)でも案内しています)

【会報 第55号】 2022.2.3

発 行 : 夏井川流域住民による川づくり連絡会 (略称:夏井川流域NW)

代表世話人: 橋本孝一

事務局 : 〒972-8311 いわき市常磐水野谷町亀ノ尾171地質内
田中博文 Tel)0246-88-8810 Fax)0246-88-8907

ホームページ : <http://blog.natsuigawa-karyu.net/> 夏井川流域で検索